

# ヨシは北上川を

## きれいにしている



(にっこり写真コンクール入賞作品)

北上川の雄大な流れが追波湾へとそそぐ河口付近に、汽水域では日本最大級といわれるヨシ原が広がっています。

毎年12月ごろから刈り取りが始まり、3月末から4月にかけては広大なヨシ原に「火入れ」と呼ばれる野焼きが行われます。北上地区の風物詩となっている刈り取りと火入れは、北上川の水質保全にも大きな役割を果たしています。

ヨシ茅を単に茅葺屋根の材料として見るだけではなく、水質浄化や自然観察の場などさまざまな観点で、私たちの“ヨシ”を考えてみましょう。

### ヨシ原は環境のバロメーター

河を渡る風がヨシの大群落を揺らすと四季折々の曲が広大な空間に鳴り響きます。風の強弱によって音は変わり、野鳥のさえずりと一緒にサラサラ、カラカラと風に触れ合うヨシの音が神秘的で・懐かしく「日本の音風景百選」に選ばれた「北上川河口のヨシ原」は、私たちの宝物です。

このヨシ原は、近年河川環境や生態系のバロメーターとして脚光を浴びています。上流の岩手県から石巻市までの流域の小学校を対象に「北上川の健康診断研究発表会」が奥州市で毎年開催され、北上川の水質調査やふるさとの自然についての調査・研究の成果を発表しています。

子ども達は「ヨシ原付近の水質が他と比べてきれいなのは、ヨシの浄化作用が影響している」と調査結果をまとめるなど、ヨシの効用について学んでいます。

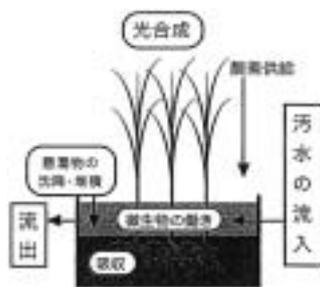
### 水質保全の効果

ヨシ原が群生する河口には有機物が集積しやすいといわれています。北上川が運び込む栄養は河口の植物プランクトンの増殖をもたらし、それらによって生産された有機物は川が運び込む有機物とともに河口に集積されます。

有機物は、一般的に生物の働きによって二酸化炭素と水に分解されますが、水中や水際のさまざまな生物の共



▲ヨシの刈り取り (にっこり写真コンクール入賞作品)



▲ヨシ原の水質浄化機能模式図

同作業によってこの過程が速やかに進むことが浄化になります。生物たちによる処理能力が追いつかなくなると有機物が滞留したりして環境悪化がおこったりします。

ヨシは、根茎を作り張り巡らせているので、浄化の処理機能を支えている生物たちの生息や増殖の場に適しています。また、水中の窒素やリンを養分として吸い取る働きもあり、成長が早いヨシはそれらの養分を一日で大量に吸収して育つなど、水質の保全に役立っています。

## ヨシの魅力に惹かれて

北上川下流の新北上大橋付近に、昨年4月にオープンした「水辺センター」があります。メーン施設となる休憩所は、天井にヨシを使ったヨシズを張り周囲の雄大な景観とあいまって訪れる人の目を楽させています。



▲水辺センター

いくつもの顔を持つヨシ原の魅力に惹かれ、創ることが好きなメンバー9人でサークル「創る会」(代表 佐々木裕子)が発足しました。

メンバーの阿部康子さんは「青々とした夏のヨシ原、そして夕日に染まる広大なヨシ原、雪が降り積もるヨシ原など、北上川に広がるヨシ原の風景がとても好きで、絵を描いたりしていますが、見ているだけで心が癒されま

す」と語っています。

サークルの初めての活動として、はがき作りをしました。紙すきの木枠に丁寧にヨシを流して、何度も失敗しながら完成した手すきのヨシのはがきは、ガラガラしたヨシの自然な風合いが、素朴でどこか懐かしい不思議なはがきになりました。

## はがき作りに挑戦

ヨシを細かく切り、切ったヨシを水で約3時間煮詰めて柔らかくし、さらにミキサーで細かくします。

紙すきの木枠に水とネリ(洗濯糊、カセローズ)と一緒に流し込んで形を整えます。すき取ったヨシ繊維を水切り乾燥させま



▲「創る会」のはがき作り



▲ヨシのはがき

す。半乾燥したら、木枠からはがしそれをアイロンで乾かすと完成です。

## ヨシの活用を全国に発信



北上のヨシ原を守る会  
会長 千葉五郎さん

ヨシ原は、ヨシ茅の生産全国一を誇り、風を受けてサワサワサワと独特の心地よい響きが日本の音風景百選に認定された、すばらしい財産です。

このヨシ原を守っていくためには手入れ(刈り取り、野焼き)が必要で、手入れをしないと、あっという間に荒地になってしまいます。年々広がる荒地に手を入れようと「北上のヨシ原を守る会」を立ち上げ、現在、会員18人で活動しています。

ヨシ原の刈り取りや火入れ、茅葺屋根の材料としては全国でも有名ですが、ヨシを使ったヨシ染め、ヨシ紙、ヨシペン、ヨシがもたらす水質保全など、まだまだ知られていないヨシの活用方法がたくさんあります。

インターネットなどを使いながら、ヨシの良さを全国に発信していきたいと思っています。

## ヨシ原を大切にしたい

ヨシ刈り体験に参加して、今年で4回目になりました。今までの経験から、上手く素早く刈るコツを覚えたので、たくさんヨシを刈り取ることができました。

ヨシを見ながら毎日登下校していると、ヨシの丈が高くなり黄色く枯れてくると冬の到来を感じるなど、四季折々の風景を楽しませてくれます。

授業でヨシ原について勉強をしました。ヨシの河川での浄化作用など、自然の中でもとても重要な役割を果たしている事を知り、改めてヨシのすごさがわかりました。また、刈り取ったヨシでヨシペンを作り、絵を描いたりして貴重な体験もしました。

大切なヨシをいつまでも守っていただきたいので、皆さんにもっと知ってもらいたいと思います。



飯野川高校十三浜校  
鈴木秀和さん